

学位被授与者氏名	Patrick Palmer
論文題目	黒澤明の『羅生門』におけるメタファー表現の視覚化
論文審査結果の要旨	<p>論文概要において紹介した論考は常に、メタファー論の先行研究を、広範に視野に入れつつ展開している。加えて論考は、宗教学、美術史、日本語学、対照言語学、モンタージュ理論（映画研究）など、広範な学問領域からの知見の援用と共に展開している。以上の、膨大な文献の渉猟に基づいた援用は、常に本論文の論考と効果的に絡みあっており、本論文の説得力の強化に効果的に寄与している。原作と脚本のテキスト分析、映画の映像分析も極めて精緻に展開しており、分析の論理性の強度の点でも高く評価できる。また、テキストと映像の引用も、論考との関連において、極めて適切に行われている。さらに、テキストと映画のメタファーの受容者（読者と観客）の心理の分析も的確に展開されている。また、原作のテキスト分析においては、37にも及ぶ芥川作品を視野に入れての論考が展開しており、本論文は作品論に留まらない作家論としての側面も有するに至っている。同様に、映画版におけるメタファー喚起の分析も、他の映画に登場するメタファーの類例を複数、視野に入れつつ、行われている。これらの複数作品を視野に入れる姿勢も、論考の説得力を効果的に高めている。以上の諸点を勘案して本論文はA評価とする。</p> <p>2020年2月19日に、北九州市立大学北方キャンパス本館E-313教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(文化・言語)として十分な内容であると判定した。</p>